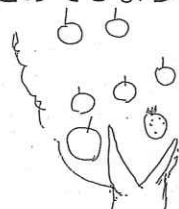


決して手を出しませんでした。お父さんもお母さんも「はなの作ったみそ汁は美味しいねえ」と喜んで飲みました。お母さんが亡くなった後、お父さんは仕事を手につかなくなるほど心も身体も弱って病気になるようになりました。はなちゃんは、「お父さんもお母さんのように死んでしまうかもしれない」そう思ったそうです。お父さんに元気になってもらう為に、はなちゃんは学校に行く前に早起きしておみそ汁を作りました。朝、お父さんは懐かしいおみそ汁の匂いで目が覚めます。そして、テーブルにはおみそ汁とお手紙が一。「はなが作ったみそ汁だよ。飲んでね」お父さんはどんな思いではなちゃんのおみそ汁を飲んだのでしょうか…。



この話を先日学童の子達にしたら、ダイヤが「僕のうちにはなちゃんのみそ汁の絵本がある！」と言って、次の日持ってきてくれました。絵本の中に、はなちゃんとお父さんが朝5時に起きて、お米をといでみそ汁を作る場面が出てきます。おだしは、はなちゃんがカツオ節を毎回削って作るおだしです。学校に行く前に一人でおみそ汁を作っているはなちゃんにびっくりした子ども達は、その場面で目を丸くして驚いていました。朝ぎりぎりまで寝て、お母さんが作ってくれる朝ご飯を食べて学校に行っている子がほとんどですものね。はなちゃんは保育園で毎日しっかりした本物のみそ汁を飲んだり、味噌作りをしてきたから、土台がちゃんとできていたのだと思います。みこべも、30年前にかなり重い病気になった時3男がまだ一年生でしたから、はなちゃんのお母さんの気持ちがわかる気がします。術後すぐ抗がん剤の点滴をしたのは、同室の中でみこべだけでしたし、のんちゃんや職員のみんなも、前のように麦っ子に復帰できないかもしれないと覚悟していたそうです。血液の数値が悪いと個室に移されてしまうのです。そういう時は麦っ子からツルムラサキのおひたしなど色の濃い野菜をたくさん持ってきてもらって、せっせと食べました。そうすると翌日の検査にOKが出るので、自分でもびっくりしました。食べものって、こんなにすぐに結果が出るんだなあ～と感心したし、逆に、おかしなものを食べたら身体がおかしくなるのは当たり前だということもよく分かりました。

今学童では、おやつにおみそ汁を子ども達と一緒に作ることが多くなっています。麦っ子のような和食中心の食事が、子ども達の心と身体にすぐ現れることが経験で分かってきました。またある取り組みで、学校に行かれないはじかれたりする子達が、毎日おみそ汁とおにぎりのおやつを食べるようになったら、目を見張るほど穏やかな落ち着いた状態になることも知りました。子ども達に

「おみそ汁を飲むと心がほんわかして元気になるよね」と聞いたら、みんな「うん」とうなずきました。きっとはなちゃんのお父さんへの想いが、お父さんを元気にしたこともわかったと思います。自分でおみそ汁を作る学童の子も何人も出てきました。麦っ子のお母さんも、「毎朝どんなに忙しくても、おみそ汁を必ず飲んでます。そうすると心が穏やかになって、仕事も頑張れる気がするの」と話してくれました。一杯のおみそ汁には本当にすごい魔法の力が入っているのですね～！この前学童でいただいた、カブと大根のおみそ汁、本当に美味しかったよ～♡みんなの気持ちがいっぱい入ったおみそ汁でした。毎朝出勤前に慌ただしく準備しているお母さん、お父さん、どうぞおみそ汁を子どもと一緒に飲んでから麦っ子に来てくださいね。朝早く登園してくる子ども達が、朝ご飯のおにぎりを持ってゲルの焚き火に行く姿も、本当にうれしそうで可愛いです。のんちゃんと焚き火を見つめながらおにぎりを食べたり、大きい子が赤ちゃんを抱っこしたり、いろ～んなおしゃべりをしたり歌ったりしている様子が、真弓先生のドキュメンタリー映画「甦れ生命の力」にも出てきます。ゲルがティピーだった頃から、デカ達のおしゃべりを聞いたり一緒に遊んだりするのを見て育ってきた麦っ子達一。この穏やかで平和な風景がいつまでも続きますように。

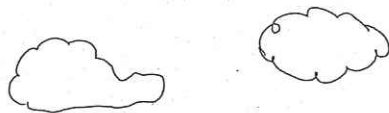
1960年、アメリカでは急増するガン患者の食事を調べてデータにまとめ、それを政策として発表しました（マクバガン報告）。そして日本の和食を高く評価して、オーガニックな食事を摂ることを奨励しました。その結果、心臓病などの成人病が減り、がんの発生率も軽減したのです。ところが日本では、戦後から今に至るまで、欧米食や多国籍料理、ジャンクフードが増え続けて、今やガン患者の発生率は世界一です。日本人に培われたDNAとは合わない食事を多用するのですから無理もないことです。味噌や納豆、タクワンなどの発酵食品や、昔ながらの和食こそが健康の決め手です。せっかくおみそ汁という伝統食があるのですから、面倒がらずに一杯のおみそ汁を毎日どうぞ！

「体質と食物 健康への道」

味噌は科学以前のものであった。

しかも、科学によって証明されるものである。

病気にからなくてすむ身体、
病気にかかっても軽くすむ身体、
そうした体質に作り変えることが、
医学の本然の姿である。



西洋人と日本人は体質が異なるし、
食物、気候風土も異なる。
西洋栄養学は、動物実験によってできあがっている。
人間の栄養学、日本人の栄養学があって然るべきである。

本当に私は、自分の命を賭けて医学をした。
今、みそ汁にたどり着いた。
毎朝のみそ汁である。
これが健康、不健康のカギと思う。

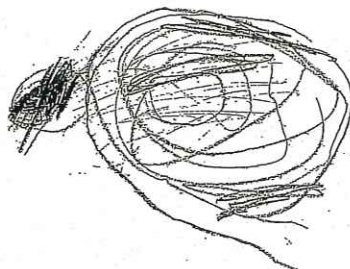
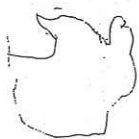
—医師 秋月辰一郎—

お題：あかたよ

- * 秋月辰一郎医師は長崎に投下された原爆で被曝しましたが、スタッフと共に数多くの被曝した人々の治療にあたってきました。秋月医師とスタッフの命を支えたのが、味噌と玄米、ワカメだったと述懐しています。砂糖は使用しなかったそうです。「いわゆる原爆症が出なかった原因の一つは、ワカメのみそ汁であったと、私は確信している」

福島原発事故から7年余が過ぎましたが、事故当時、福島周辺だけでなく関東地方にも大量の放射性物質が降り注ぎました。残念ながら、その影響はいまだ衰えていません(半減期に達するには30年~50年が必要)。世の中はすっかり原発事故がなかったかのように動いていますが、身元のしっかりした本物の味噌で作るみそ汁を中心とした和食を子ども達と一緒に食べませんか？事故の責任は子どもにはありません。私達大人が少しでも安心して暮らせる社会を用意することが、大人としての責任の取り方だと思っています。

(園長 みこべこと大島貴美子)



藤本勝代(ふじもとかつよ)です

つっちい、またはふじもん

個性豊かな子どもたちを見て

いると、毎日がとても楽しく

なります。私もこんな時が

あったんですよえ……



あじの つっちー★藤本

藤本勝代さん
おはようございます

麦っ子のごはんをむく

さん食べて、元気に

過ごしたいと思

います。よろしくお願



ヒサシ画

新人紹介：に載せて頂くには少しゆさり感
もありですが、ごもたちちる人、麦っ子で
お世話になりながら、週4日台所
のお手伝いをさせて頂いてます。
朝の体操の時間、導きそらに
踊るみんなの姿を台所から
見るのが好き😊
よろしく
どうぞ！

新人 紹介

改めて18期生の
豊長飛鳥です!!
食べること遊ぶことが
大好きです。子どもと
たくさん笑って、食べて楽しく
過ごしていきたいと思ひます。

麦っ子魏で
がんばります!
よろしくお願ひ
します(笑)/



梅子
さん
さん

麦っ子ベレーボ
チームの
かけ声

くまの
画

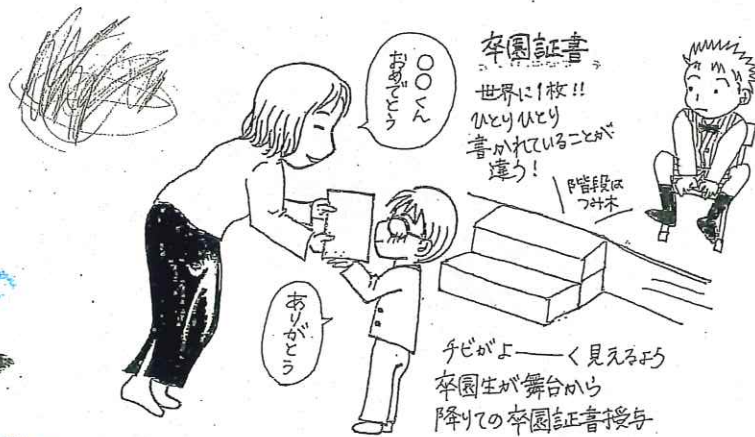


Namaste~
ネーデル
の
マサ子さん
みこバ画

(はじめまして。5月から麦っ子に
来れた、河内 望美です
元気いっぱいの子と楽しく過ごしたいです、
のち、11/20から22まで。
どうぞよろしくお願ひ致します。〃
1 星くみの大人です



まっ子の卒園式 ってこんななの☆

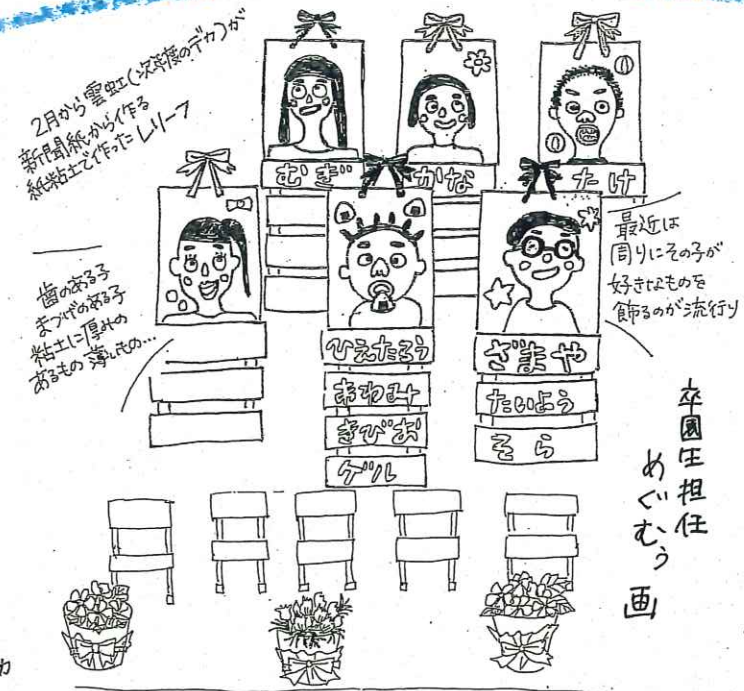


退場は皆でアーチを作る。ジャズの曲に合わせて元気にハイハイでトンネルをくぐり太陽にさよなら

とまどました
初まよした
たのしさを
ながむりゆっせい

きんちゅうしたばんないせい

おとちゅうせい
はなたぬい

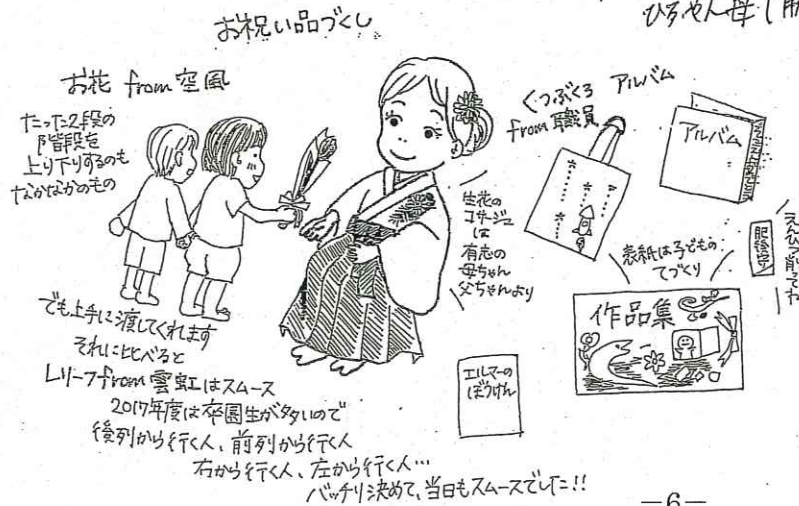


じきじきしたまつもと
わか

今年、初参加口にして全て感動しました。全て手作りして私の知っている卒園式とは違う。まっ子の心は涙山おどろかせました。ひやせん母(臆又和子)

にじぐみから
がおをっくて
くわてうれした
あらいあゆむ

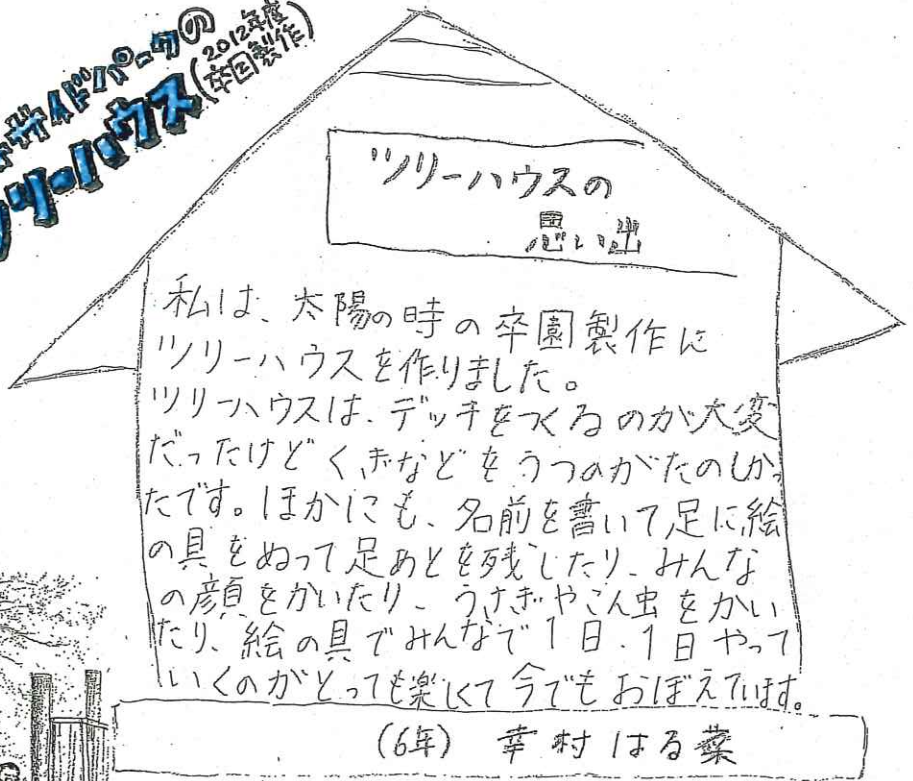
いっぴい もらってうれしたよ。
とあーんちかいむをいこもってうれした
あかのののか



毎年、お世話になりに太陽組を送り出す卒園式。今年初めて送り出される娘の親としての、そして、新園舎に初めて卒園式でした。卒業証書をいかに早くも、みこべの前まで歩く時間、その子が一番好きな曲(ピアノ)で生演奏してもらえます。その優しい音色を聴きながら、まっ子の顔をあげて歩く太陽組の姿を見て、子どもに成長を感じ胸が熱くなりました。「大切なのはみんなまっ子で、まっ子で、まっ子」と感じます。子どもに成長を驚かす、まっ子で育まれたので、改めて感謝する、とて素敵な卒園式でした。 まるちゃん(和賀及佳母)

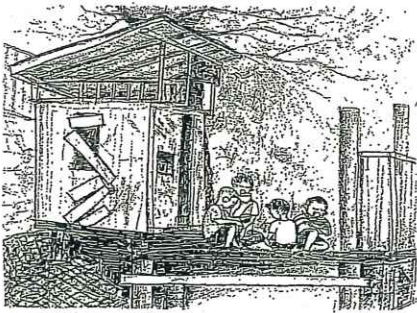


卒園製作探検の
ツリーハウス (卒園製作) 2012年度



私は、太陽の時の卒園製作に
ツリーハウスを作りました。
ツリーハウスは、デッキを作るのが大変
だったけどくまなどをうつのかたのけ
たです。ほかにも、名前を書いて足に絵
の具をぬって足あとを残したり、みんな
の顔をかいたり、うけあやこん虫をか
いたり、絵の具でみんなで1日、1日やっ
ていくのがとっても楽しく今でもおぼえています。

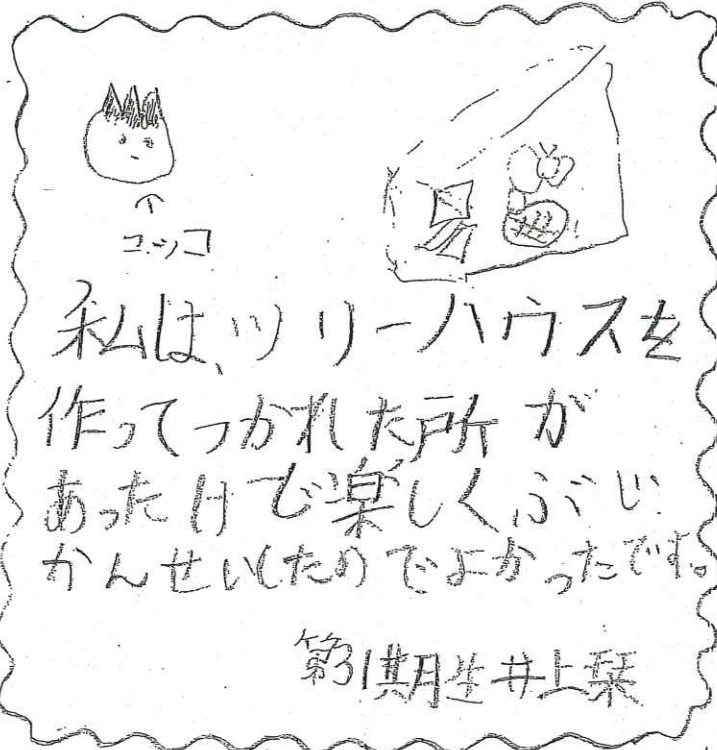
(6年) 幸村はる葉



たけのこ画

『ツリーハウスで夢をみる』

この題名の本があつて、それはそれは
もうとてステキな本なのです。本棚に
一冊は欲しい本です。たが「ツリーハウス」が
ツリーハウスでたくさんの、てる本なのですか。
そんな本と出会ったのも「卒園製作でツリー
ハウス作る？」なんて話が持ち上がったから
元はといえば、まろのお昼の11冊を作った
くれている「11-7-7」ネット「ネット」に行きた
時に子どもたちが見たのがおきかして、
作るよと決まることが、どんどんと進
んでいった感じがした。色んな本を
借りてきて、色んなツリーハウスを見て、
太陽の時の気持ちも、どんどんと盛り
上がっていくのが、目に見えるよう、た
さんの人に手伝って、もう大変な事もあ
りして、卒園式までに出来るのか？とも思
って、卒園式前日に完成。親の皆様に
「ツリーハウス」でかいてもらって、い
んなツリーハウス、出来た頃は人気者だっ
た。年月を経て、まろの風景の1部にな
り、なんだかそれかともうれい
ゆかし。



第31期生 井上葉



賛助会員の皆さまからのメッセージ

みんなのことを考えると
こころが軽くなる気がします。

気がいたことほぐせりまわす。

尾本宗壽 (麦子のファン)

麦子といても応援しています

塚本昭二郎 (麦子のファン)

いつもお世話になっております。

野並文朗 (麦子の父)

おかげ様で、アットホームな上映会になりました。ありがとうございます。

三井陽子 (上映会を主催、のんちゃん-みこべ友人)

子供達のためにいつもご尽力くださりありがとうございます。

樋口正夫 (麦子のファン)

あたたかな内容の通信にいつも泣かされます。応援しています。

水谷久美子・昌平 (水谷商店 イワシ節を送って下さる方)

ルシアンちゃんたち
麦子の子供たちと元気に遊んでいけるかな？

清水洋子 (みこべ友人)

機関紙代の他は
カンパが使ってます。

鈴木才代子 (卒園生のお母さん)

北海道 LAUKIKA

大矢美紗子

渡辺ひかり

(マンスリーでのご支援
ありがとうございます)

新園舎きれいだね。

島西陽平 (卒園生)

地震の活動期を新年早々 高橋説の
魔のトライアングルが動いています。

資料のまじり動いてい子のび お勉強に
備えて下さい。

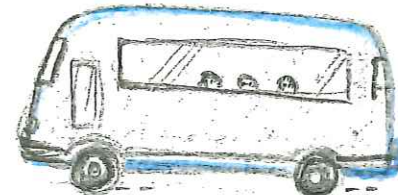
高橋典子 (みこべ友人)

息子たちがお世話になり
本当に感謝しています。

「ここに麦子があるから。
そこに行けばいざも会えるから。」

仮屋淳子 (卒園生のお母さん)

そしめん母画



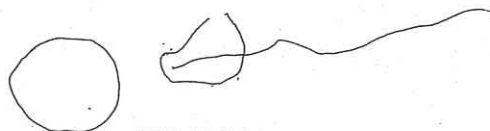
～いつも麦っ子畑保育園をご支援くださりありがとうございます～

麦っ子畑保育園賛助会は2000年8月、園児達がよりよい環境で生活できるよう、少ない助成金では何ともしがたい施設や設備を充実させるために、皆さまからのご支援を仰ぎたく発足しました。おかげさまで2017年7月から、認可保育園としてスタートすることができました。ご支援していただいた皆さまに、心からお礼申し上げます。今までお振込みいただいた賛助会費は、新園舎建設にかかった費用の補填にあてさせていただきます。これからもどうぞよろしくお願ひします。

2018年1月～2018年6月迄に集まった賛助会費と上映会でのカンパ

合計は **34,0150** 円 でした。ありがとうございました。

*賛助会費は1口3,000円から申し受けております。
皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。



編集後記



あっという間に春が過ぎ去り、季節は梅雨に移り変わりました。新しく入園したお友達も、そろそろ麦っ子の生活に慣れてきた頃でしょうか。

今年はおむぎ通信という初めての委員会になりましたが、編集後記の担当となり「編集後記とは何か」からお勉強。文章力も絵心もない私がよく希望を出したもんだと若干の申し訳なさもありましたが、様々な方にご協力いただき、無事に1回目のおむぎ通信を送り出すことができました。

さて、麦っ子はお便り発行の回数が多いことで有名ですが、中でも楽しみにしているのがお便り名物？新人紹介と、ごちゃごちゃ論。新しいお友達を歓迎している大人の気持ちが伝わってほっこりするし、普段親が見ること・聞くことのできない子どもたちのやりとりがおもしろおかしく書かれているのでつい探してしまうのです。そして、「これからよろしくね」の意味が、麦っ子在園期間だけでなく、一生よろしくねと言っているように感じてしまうのは私だけでしょうか。私も麦っ子に入園してから30年程経ちますが、あの頃と何も変わらず見守ってくれる職員の存在が本当にありがたいのです。新しく入園したお友達とご家族の皆様も、ずっとずっと麦っ子の仲間と繋がっていただけますように。みこべ～120歳まで生きてね。



高根めぐみ(くも組 けいの母)